

UCDA「産学協創プロジェクト」発足 ～コミュニケーションをわかりやすくするシーズを募集します～

■ 目的と背景

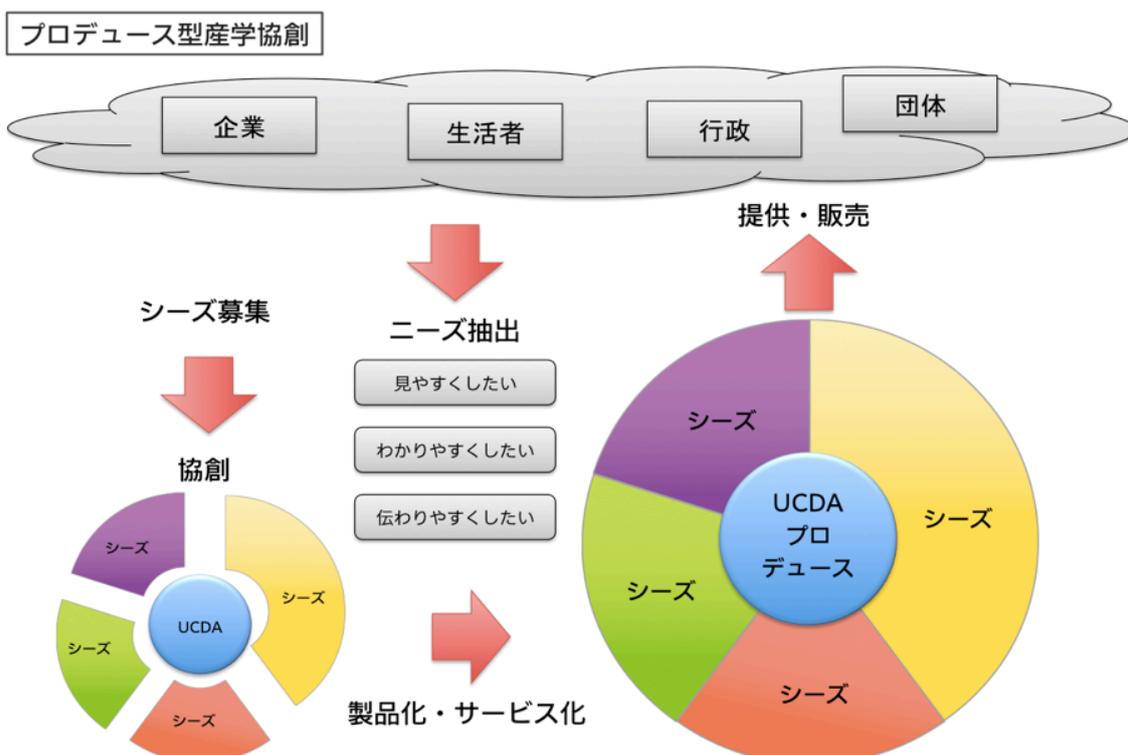
一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会(UCDA)※は、2013年2月1日から情報コミュニケーションの「伝達品質」を向上するための「産学協創プロジェクト」を発足します。このプロジェクトは大学等の研究機関と企業に向け、見やすさ、わかりやすさに役立つ技術・研究・評価手法などの募集を行い、UCDAがプロデュースして実用化・サービス化することを目的としています。

UCDAは企業や行政機関が発信する情報の「わかりやすさ」を認証する第三者機関です。現在40社の賛助会員企業と理事・運営会員から構成され、金融機関、行政機関、団体、生活者からコミュニケーションをわかりやすくしてほしいという要望が寄せられています。

■ プロデュース型「産学協創プロジェクト」

「伝達品質」の向上についての課題は、コミュニケーション上の広範囲なメディアに存在します。この課題を解決するには、関連分野の研究者と企業の知見を結集して、有効なソリューションを開発する必要があります。

異なるシーズを組み合わせる付加価値を創造し、迅速に製品化・サービス化するため、UCDAは従来の産学連携よりも一歩踏み込んだ「プロデュース型」で推進しています。



■ 募集対象

- ・「見やすさ、わかりやすさ、伝わりやすさ」に関わる研究・技術・ソフトウェア

[重点分野]

- ・情報コミュニケーションにおけるユーザーの行動分析、心理分析
- ・ユーザビリティ、アクセシビリティ、ユニバーサルデザインに関する研究
- ・日本語の「読みやすさ、理解しやすさ」に関する研究
- ・ビッグデータを活用した評価・分析技術
- ・電子組版に関する技術・ソフトウェア
- ・食品・包装表示に関する研究・技術
- ・電子的表示画面の視認性に関する研究・技術

■ 対象研究分野（研究機関向け）

- ・情報デザイン学
- ・視覚伝達デザイン学
- ・人間工学
- ・認知科学
- ・日本語学
- ・社会心理学
- ・社会調査学

■ お願いしたい活動内容

- ・協同研究開発への参加
- ・UCDAが受託した評価・分析・改善業務への参加

■ 研究機関の便益

- ・複数のニーズを募集することで、研究活動の実用化・製品化を促進できる
- ・研究に関連する業界や企業から研究費を助成される
- ・事業活動においての成果を研究発表できる

■ 企業の便益

- ・迅速に実用化・製品化を促進できる
- ・複数のシーズが組み合わせられることで、付加価値が期待できる

■ 応募方法

ご関心のある方はメールでお問い合わせください。エントリーシートをお送りしますので、記入の上ご返信ください。また、必要に応じて詳細説明会を行います。（遠隔地の場合は別途ご相談します）

■ 選考方法

当協会理事による書類審議後、面談により対象の大学、研究機関、企業を決定いたします。

■ 実用化実績

- ・印字率測定ソフト開発（印刷物の情報量を測定）
- ・版面分析ソフト開発（デザイン要素の定量化）
- ・デザイン評価ソフト開発（印刷物のユーザビリティを評価）
- ・DIMS（動画を用いた心理分析システム）
- ・UCDAフォントみんなの文字®開発（人間中心設計による読みやすい文字）→<参考事例>

■ 賛助会員一覧（*五十音順）

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| ・株式会社アラート | ・株式会社電通 |
| ・e-base株式会社 | ・東洋インキ株式会社 |
| ・株式会社イセトー | ・トッパン・フォームズ株式会社 |
| ・株式会社イワタ | ・日本オプロ株式会社 |
| ・エヌ・ティ・ティ・コムウェア・ビリングソリューション株式会社 | ・株式会社博伸社 |
| ・株式会社エヌ・ユー・エス | ・ハグルマ封筒株式会社 |
| ・株式会社オオツカ | ・富士ゼロックス株式会社 |
| ・カワセコンピュータサプライ株式会社 | ・株式会社フェムテック |
| ・共同印刷株式会社 | ・株式会社フェロー |
| ・株式会社クリエイティブ・リンク | ・株式会社プランズボード |
| ・クリヤマ印刷株式会社 | ・株式会社ブランドゥ コミュニケーション |
| ・株式会社恵和ビジネス | ・株式会社マクビーカタガイ |
| ・小林クリエイト株式会社 | ・みずほ証券株式会社 |
| ・株式会社式会社コーユービジネス | ・ミズノプリテック株式会社 |
| ・株式会社ことのは本舗 | ・株式会社ミック |
| ・株式会社ジェイツ・コンプレックス | ・三菱製紙株式会社 |
| ・株式会社第一印刷所 | ・三菱製紙販売株式会社 |
| ・株式会社ダイス | ・株式会社モリサワ |
| ・ティエヌエル株式会社 | ・リコージャパン株式会社 |
| ・デプラス株式会社 | ・理想科学工業株式会社 |
- （2012/12/31現在：40社）

(※) 一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会について

URL：<http://www.ucda.jp>

2007年任意団体として設立（2009年11月に一般社団法人化）。視覚情報伝達の領域に、人間中心設計の考え方を導入。生活者の生命・財産に関わる金融コミュニケーションの分野を中心に、第三者機関として「わかりやすさ」の認証制度を行っています。産業・学術・生活者の第三者による研究および評価・改善活動で情報の伝達効率を向上させ、発信者である企業・団体と、受信者である生活者、双方の利益に資することを目指しています。

■ 本件についてのお問い合わせ先

一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会®

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-6 竹田ビル

Tel：03-3543-8355 Fax：03-3549-6152

E-mail：info@ucda.jp

URL：<http://www.ucda.jp>

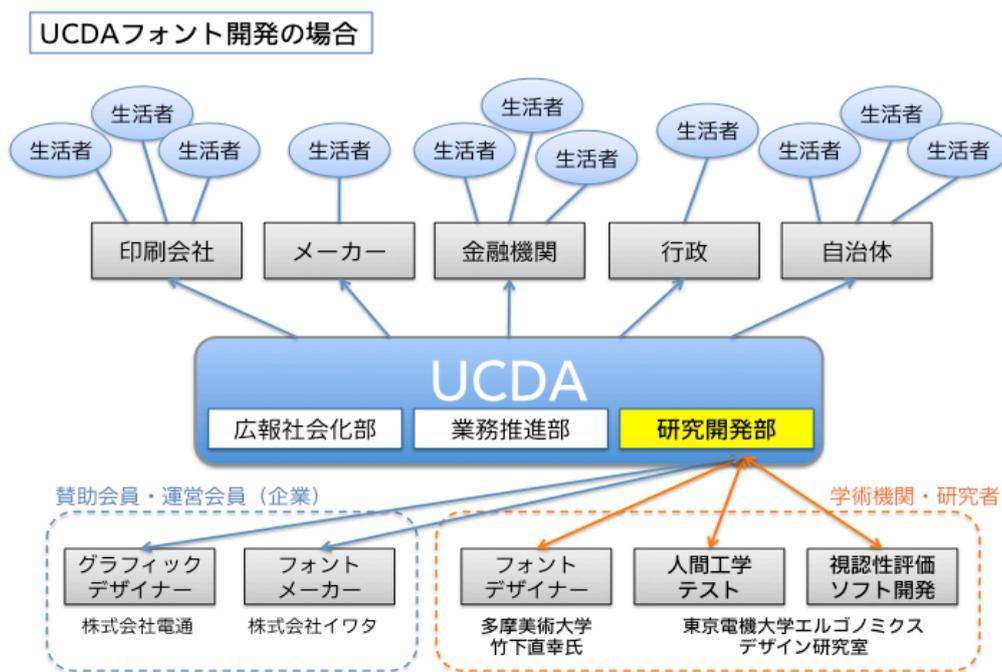
担当：研究開発研究部 佐々木、小原

<参考事例>

■ UCDAフォント（みんなの文字®）

「みんなの文字®」はUCDAと東京電機大学、イワタ、電通が共同で開発し、様々な方に読みやすいことを科学的に検証し、完成させた書体です。視覚コミュニケーションの基本的要素である文字に関して、人間中心設計による科学的検証を重ねたことが高く評価されています。

日本年金機構の「ねんきん定期便」、日本郵政グループのDMなど幅広い国民を対象にした印刷物や金融機関の印刷物に使用されています。



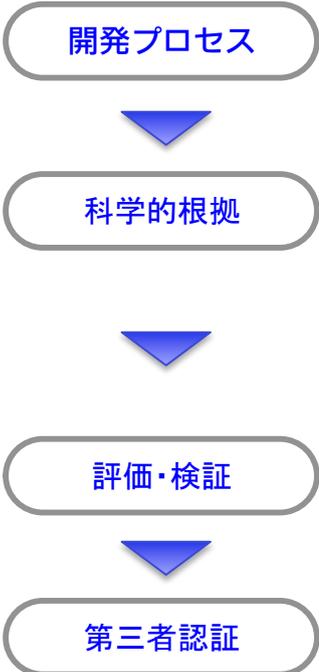
書体デザイナー
多摩美術大学
竹下直幸氏



東京電機大学 理工学部
准教授・博士（工学）
矢口博之氏



フォントメーカー
株式会社イワタ
水野 昭氏



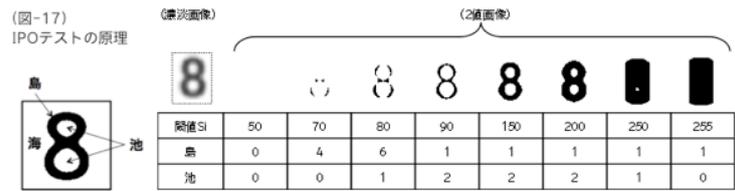
見やすく読みやすい文字の開発ガイドラインに「ISO13407人間中心設計のプロセス」を採用、読む人の視点に立って設計しています。

東京電機大学「矢口式評価法（IPOテスト）」（特許出願中）により、文字のかすれにくさ、つぶれにくさを定量化して、安定領域を「視認性」「判読性」の指標としました。

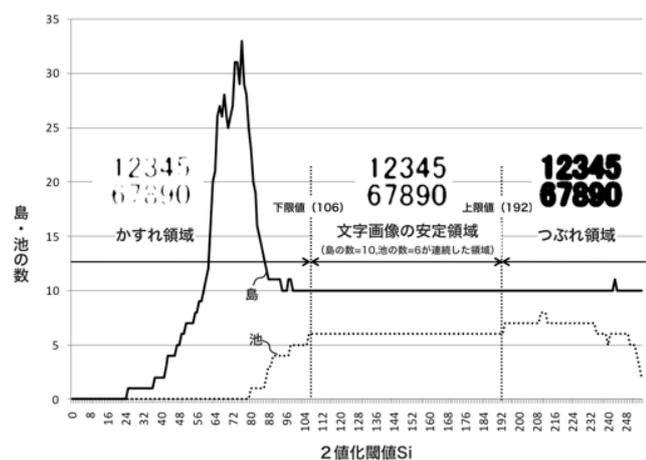
文字ごとの特性を考慮した、小サイズでもつぶれにくい設計です。

老眼、白内障など多様な方々にテストを実施して「判読性」「視認性」「可読性」を検証しました。

開発初期からのレポートとプロトタイプをUCDA認証委員会に提出、さらに査読・審査をクリアして、多様なユーザーに読みやすいフォントとして認証されました。



ユーザーテストの様子



使用事例

日本年金機構 ねんきん定期便



日本郵政グループ 郵便局サービスガイド



採用実績例

信販会社

- ・入会申込書
- ・カード送付台紙
- ・会報 NEWS
- ・再振替依頼書

生損保会社

- ・自動更新案内
- ・総合通知
- ・告知書
- ・代理店システム画面
- ・ノンフリート等級案内
- ・自動車保険契約内容通知
- ・重要事項説明書

年金機構

- ・ねんきん定期便
- ・ねんきん記録確認案内
- ・啓発ポスター
- ・学生納付特例制度手続きガイド
- ・ねんきんネットお知らせ便
- ・「気になる年金記録再確認キャンペーン」告知

銀行

- ・住宅ローン申込書
- ・店頭各種リーフレット

高松市

- ・市民税・県民税納税通知書(税額決定)
- ・固定資産税納税通知書

自動車会社

- ・TVコマーシャル

携帯電話会社

- ・パンフレット

ほか多業種に採用



この資料は、一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会が、第三者の公正な審査を経て、ユーザーにとって見やすく配慮されたデザインであると認証したものです。



この資料は、みんなの文字を使用しています。みんなの文字は、一般社団法人UCDAが「読みやすさ」を認証した書体です。